

## F 都市基盤施設

---

**【目次】**

- F-1 自転車駐車場・駐車場
- F-2 公園施設
- F-3 防災施設

余白ページ

## F-1 自転車駐車場・駐車場

### 0 川越市公共施設等総合管理計画におけるマネジメント方針

- 自転車駐車場は、予防保全を図ります。  
また、需要について把握し、地域ごとに必要な台数を検討するとともに、  
今後は、民間の自転車駐車場を有効に活用するなど、民間活用を含めたサービス提供の在り方を検討します。
- 川越駅東口公共地下駐車場は、計画的に改修を行い、長寿命化を図ります。

### 1 施設の概要など

#### (1) 施設概要（設置目的、利用状況、整備状況など）

##### （自転車駐車場）

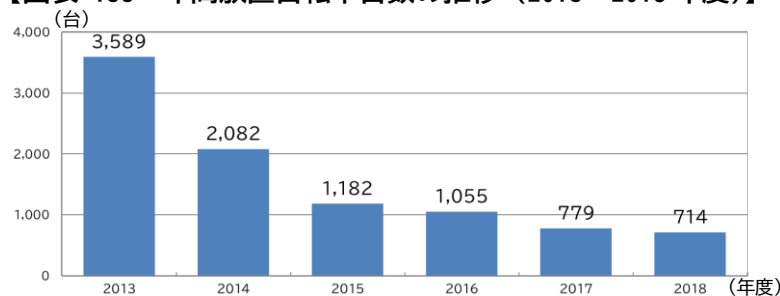
自転車駐車場は、川越市自転車駐車場条例で位置付けられた施設で、自転車等<sup>25</sup>利用者の利便の増進を図るとともに、駅周辺の放置自転車対策として、市営の自転車駐車場を8か所設置しています。

2018年度の年間放置自転車台数は714台で、2013年度と比較すると約80%減少しています（図表133）。また、自転車駐車場の使用料収入は、概ね1億5千万円で推移していますが、市収入（＝使用料収入－指定管理料－賃借料）は、近年、減少傾向にあります。

市営自転車駐車場施設は、全て新耐震基準建築物です。2003年度に川越駅西口第一自転車駐車場、2005年度に川越駅西口第二自転車駐車場の外壁と屋上防水の改修を行っています。他の自転車駐車場では、これまで大きな改修等を実施しておらず、施設によっては、鉄部で経年による劣化が生じています。

なお、自転車駐車場は、指定管理者である公益社団法人川越市シルバー人材センターが運営しています。

【図表 133 年間放置自転車台数の推移（2013～2018年度）】



<sup>25</sup> 自転車等とは、自転車及び原付自転車をいう。

## (駐車場)

本市が設置している駐車場施設は、川越駅東口公共地下駐車場条例で位置付けられている川越駅東口公共地下駐車場の1か所です。公益社団法人川越市シルバー人材センターに業務委託を行い、運営をしています。

なお、当駐車場の一部は、川越市駐車場附置義務条例に基づく駐車場となっています。

駐車場施設の年間利用台数は減少傾向にあり、それに伴う年間使用料収入も減少傾向にあります。川越駅東口公共地下駐車場特別会計から一般会計への繰出しを行っている（2018年度は約4,700万円）施設です。

川越駅東口公共地下駐車場は新耐震基準建築物です。2010、2011年度に機械式駐車場の撤去を行っています。また、2015年度に泡消火設備の改修、2016年度にエレベーターの改修工事を実施しています。

## (2) 対象施設

ここで対象とする施設は、以下のとおりです。

【図表 134 対象施設一覧（自転車駐車場・駐車場）】

No.	施設名	地区	建築年度	延床面積(m <sup>2</sup> )	敷地面積(m <sup>2</sup> )	備考
1	川越駅西口第一自転車駐車場	本庁	1981	2,000	—	
2	川越駅西口第二自転車駐車場	本庁	1990	1,025	511	
3	川越駅西口第三自転車駐車場	本庁	2014	984	861	
4	川越駅東口自転車駐車場	本庁	1988	2,251	985	
5	本川越駅前自転車駐車場	本庁	2002	311	—	賃借
6	的場駅前自転車駐車場	霞ヶ関	1988	9	1,063	
7	新河岸駅自転車駐車場	高階	1993	10	1,124	
8	南大塚駅南口自転車駐車場	大東	1992	6	537	全借地
9	川越駅東口公共地下駐車場	本庁	1990	8,790	—	

※的場駅前、新河岸駅、南大塚駅南口の各自転車駐車場にある建物は、駐車場管理人のための建物

※川越駅東口公共地下駐車場の敷地面積は、地下の施設のため記載しない。

【図表 135 自転車駐車場運営主体の分類】

自転車駐車場（有料）		※個別施設計画対象施設：市営自転車駐車場	
市営	8か所	<ul style="list-style-type: none"> <li>川越駅西口第一自転車駐車場</li> <li>川越駅西口第二自転車駐車場</li> <li>川越駅西口第三自転車駐車場</li> <li>川越駅東口自転車駐車場</li> <li>本川越駅前自転車駐車場</li> <li>的場駅前自転車駐車場</li> <li>新河岸駅自転車駐車場</li> <li>南大塚駅南口自転車駐車場</li> </ul>	(公社)川越市シルバー人材センター ↳指定管理者 ・市営：公設公営 ↳ただし、本川越駅前自転車駐車場は、自転車駐車場の部分を賃借している（民設公営）
公営	6か所	<ul style="list-style-type: none"> <li>霞ヶ関駅南口自転車駐車場</li> <li>霞ヶ関駅北口自転車駐車場</li> <li>南古谷駅前自転車駐車場</li> <li>笠幡駅第一自転車駐車場</li> <li>笠幡駅第二自転車駐車場</li> <li>西川越駅自転車駐車場</li> </ul>	(公財)自転車駐車場整備センター ・公営：民設民営 ↳センターは土地を無償貸借し、自転車駐車場の設置、維持管理、運営を行う。建設費などの償却が終了し、一定期間後、市へ施設が無償譲渡される。
民営	128か所		・民営：民設民営
市営自転車置場（無料）		4か所	※設置か所数については、2018年10月現在 <ul style="list-style-type: none"> <li>新河岸駅第一自転車置場</li> <li>新河岸駅第二自転車置場</li> <li>南大塚駅南口自転車置場</li> <li>南大塚駅北口自転車置場</li> </ul>

【図表 136 配置図（自転車駐車場・駐車場）】



### (3) 自転車駐車場・駐車場の課題

#### ① 駅ごとの自転車利用者数の把握と自転車駐車場の確保（自転車駐車場）

今後も、駅周辺環境整備に寄与するため、継続して放置自転車対策を行うことが必要です。

そのため、駅ごとに自転車利用者数を把握しつつ、それに応じた自転車駐車場の確保が必要です。

#### ② 計画的な施設の保全（自転車駐車場・駐車場）

自転車駐車場は、既に建築後30年を超えている施設もあり、計画的な保全が必要です。

また、川越駅東口公共地下駐車場は、経年劣化による車路の整備やエレベーターなどの設備について、点検を定期的実施し、適切な維持管理を行うことが必要です。

#### ③ 効率的で効果的な運営手法の検討（駐車場）

今後の人口減少に伴う自動車保有者の減少や施設の老朽化が進む中、更なる運営手法の効率化が求められます。

また、周辺の民間駐車場の設置数や利用状況を調査し、適切な料金設定等の検討が必要です。

## 2 自転車駐車場・駐車場の整備更新の方針

### (1) 今後の方向性

#### (共通)

今後も安全安心な施設として活用するため、適切な施設の保全を行います。

#### (自転車駐車場)

自転車駐車場の駐車台数不足の解消や、施設更新の際は、公益財団法人自転車駐車場整備センターや民間自転車駐車場の活用を行うことを基本とします。

無料である市営自転車置場については、その在り方について検討します。

自転車駐車場のうち、管理人等が使用する小規模な建物については、事後保全での対応とします。

(駐車場)

川越駅東口公共地下駐車場は、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略<sup>26</sup>」を2020年度までに策定する予定です。この中で、民間活力の活用を検討するなど、効率的で効果的な運営手法の検討を進めます。

(2) 規模・配置について

(自転車駐車場)

各駅に設置しており、駅周辺の放置自転車台数も大きく減少しています。

(駐車場)

川越駅東口に設置しており、駐車場附置義務駐車場としての役割も備えています。

3 自転車駐車場・駐車場の検討結果

2025年度までに取組を進める施設は、以下のとおりです。

【図表 137 改修対象施設】

対象施設	取組	内容
川越駅西口第一自転車駐車場	40年目改修	40年目改修の時期にあたり、工事履歴や点検結果等を踏まえ、必要な改修を行います。

<sup>26</sup> 経営戦略とは、中長期的な視点から経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に資するため、収入と支出を均衡させた「投資・財政計画」を中心とした経営の基本計画のこと。総務省通知により、技術的助言として策定を要請されている。

余白ページ



## F-2 公園施設

### 0 川越市公共施設等総合管理計画におけるマネジメント方針

- 公園施設は、策定した『公園施設長寿命化計画』に基づき、効率的に維持・管理を行います。なお、当該計画で対象としていない公園施設についても、継続的な点検を行い、劣化状況を踏まえた修繕を実施します。

#### 1 施設の概要など

##### (1) 施設概要

本市の都市公園の数は 320 か所で、そのうち住区基幹公園が 283 か所、都市基幹公園が 4 か所、特殊公園が 4 か所、広場公園が 1 か所、緑地が 28 か所です。

また、公園の管理やスポーツ施設の貸し出しのため、公園管理事務所を初雁公園内に、公園管理詰所を上戸緑地脇と安比奈親水公園脇に設置しています。

##### (2) 対象施設

ここで対象とする施設は、都市公園及び、公園管理事務所・管理詰所とします。

【図表 138 対象施設一覧（公園施設）】

No.	施設名	地区	建築年度	延床面積(m <sup>2</sup> )	敷地面積(m <sup>2</sup> )	備考
1	公園管理事務所	本庁	2001	166	44,757	内 145 m <sup>2</sup> 借地
2	上戸公園管理詰所	名細	1981	114	332	
3	安比奈親水公園管理詰所	霞ヶ関	1993	123	687	全借地

※公園管理事務所の敷地面積は、初雁公園の公園供用面積を記載

※都市公園の諸元は、施設数が多いため割愛

【図表 139 配置図（公園施設）】



※公園管理事務所および管理詰所のみ記載

## 2 公園施設の整備更新の方針

### (1) 今後の方向性

都市公園については、「川越市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に保全を実施します。長寿命化計画未策定の都市公園については、必要に応じて策定することとします。

公園管理事務所・管理詰所については、適切な維持管理に努めます。

### (2) 規模・配置について

川越市都市公園条例に定める「都市公園の配置及び規模の基準」があります。

## 3 公園施設の検討結果

都市公園は、「川越市公園施設長寿命化計画」に基づき対応します。公園管理事務所・管理詰所については、適切な維持管理に努めます。

## F－3 防災施設

### 0 川越市公共施設等総合管理計画におけるマネジメント方針

- 防災施設は、災害時、適切に活用できるよう計画的に維持・管理を行います。

### 1 施設の概要など

#### (1) 施設概要

本市では、災害時に備えた食料や生活必需品などの保管のため、災害備蓄庫 16 か所、備蓄品保管室 60 か所を設置しています。備蓄品保管室は、避難所となる小中学校、市立川越高等学校及び教育センター等に設置しており、14 か所は別棟で、46 か所は校舎内等に設置しています。

また、災害用給水井戸を小中学校等の敷地内に 22 か所、防災井戸を伝統的建造物群保存地区に 1 か所設置しています。

#### (2) 対象施設

ここで対象とする施設は、下記のとおりです。

【図表 140 対象施設一覧（防災施設）】

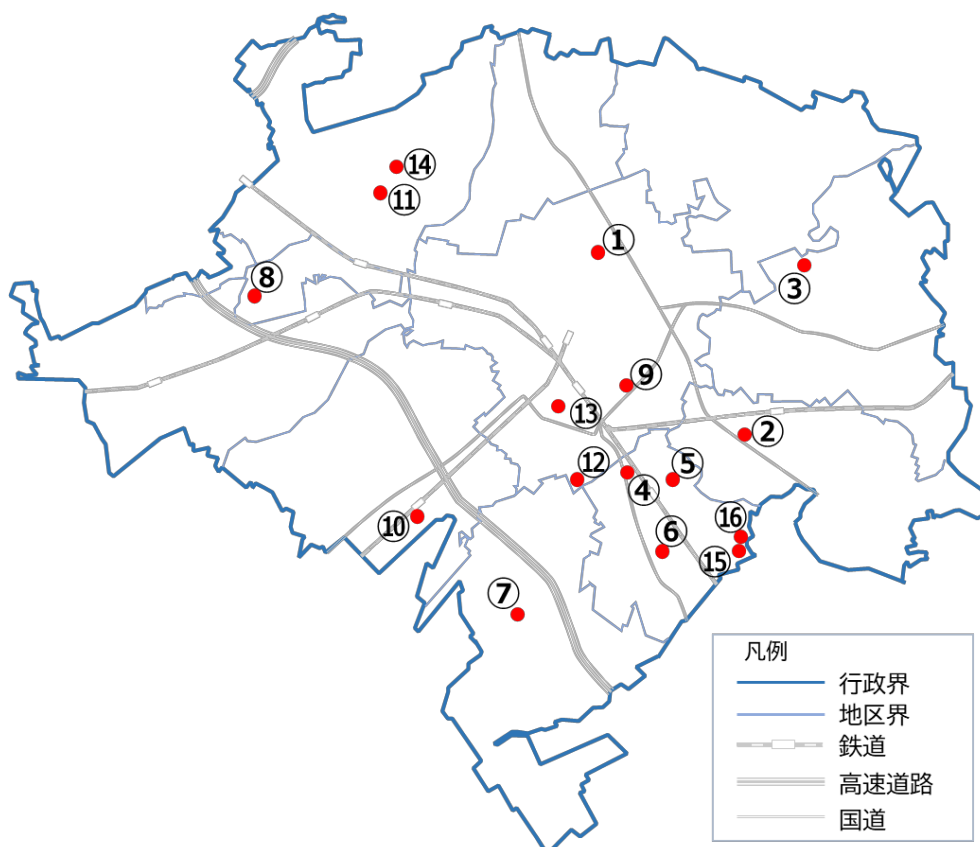
施設の種類	設置数	
災害備蓄庫	16	
備蓄品保管室	60	14 (別棟で設置)
		46 (校舎内等に設置)
災害用給水井戸等	23	

【図表 141 災害備蓄庫一覧】

No.	施設名	地区	建築 年度	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	備考
1	宮下備蓄庫	本庁	1998	310	—	初雁中学校敷地内
2	南古谷備蓄庫	南古谷	1994	14		
3	古谷備蓄庫	古谷	1984	93		
4	高階第1 備蓄庫	高階	1992	60		
5	高階第2 備蓄庫	高階	1992	52	137	全借地
6	高階第3 備蓄庫	高階	1993	14		
7	福原備蓄庫	福原	1986	46		
8	霞ヶ関北備蓄庫	霞ヶ関北	1992	54	165	
9	仙波備蓄庫	本庁	1981	117		
10	大東備蓄庫	大東	1985	67		
11	名細備蓄庫	名細	1983	108	108	
12	岸町備蓄庫	本庁	1982	142	432	
13	ウエスタ川越備蓄庫	本庁	—	—	—	ウエスタ川越内
14	なぐわし公園備蓄庫	名細	—	—	—	なぐわし公園温水 利用型健康運動施設 (PiKOA) 内
15	寺尾 (向イ) 備蓄庫	高階	2017	4		
16	寺尾 (中島) 備蓄庫	高階	2017	7		

※備蓄品保管室及び災害用給水井戸等の施設諸元は、施設数が多いため割愛

【図表 142 配置図（防災施設）】



※災害備蓄庫のみ記載

### (3) 防災施設の課題

防災施設は、災害時の備えとして必要な時に適切に活用できることが求められます。

## 2 防災施設の整備更新の方針及び検討結果

### (1) 今後の方向性及び検討結果

災害備蓄庫、備蓄品保管室及び災害用給水井戸等は、劣化状況に応じた保全を行います。

余白ページ